

## 知事コメント

### (MV-22オスプレイの普天間飛行場への着陸について)

8月29日に大分空港に緊急着陸したMV-22オスプレイが、本日11時12分、岩国基地を離陸し、13時13分、普天間飛行場に着陸しました。

MV-22オスプレイについては、昨年12月に名護市沖合で、今年8月にはオーストラリア東海岸沖で墜落事故を起こしたほか、緊急着陸等も繰り返して行っております。

特に今回、大分空港に緊急着陸を行った機体は、今年6月にも伊江島補助飛行場で緊急着陸を行っており、同一機が約3ヶ月の間に2回の緊急着陸を行った極めて異常な事態に、県民は大きな不安を感じるとともに、米軍の航空機整備のあり方、安全対策等について大きな疑念と不信感を抱かざるを得ません。

また、こうした事案が発生する度に県や関係自治体などから原因の究明や公表、原因究明までの飛行中止などを求めてきたにもかかわらず、十分な説明が無いまま飛行を続け、今回、緊急着陸を行った機体に関しても緊急着陸の原因や、修理の内容、安全対策の内容に関して十分な説明も無く飛行させた米軍の姿勢は、県民無視、県民不在と言わざるを得ず、強い怒りを禁じ得ません。

日本政府は当事者として国民、県民のために責任を持ってこのような事態に対応すべきであり、県としては、引き続き、原因の究明、実効性のある再発防止策と今後の安全管理の徹底について万全を期し、その内容を公表するよう米軍、政府に強く求めるとともに、県民の安心・安全を確保し、懸念や不安を払拭できるよう、政府に対し、事故等が発生した際の協議会の設置や、オスプレイの配備撤回を強く働きかけていきたいと考えております。

平成29年9月9日

沖縄県知事 翁長雄志